

令和5（2023）年度

地域学校協働活動推進員養成研修⑤ 実施報告

実施日：令和5（2023）年10月25日（水）

本研修は、地域学校協働活動推進員としての資質向上を目的として、全5回の内容で実施されました。

最終回となった第5回は、第1回～第4回で学んだことについて確認するとともに、受講者自身も主体となって事業を計画・立案し活動を進めていけるようにすること、また、自身の活動における「次の1歩」をどう踏み出すかを考えることをねらいとして、研修を行いました。

演習「地域学校協働活動の企画・立案」

総合教育センター職員



本演習で、受講者は自身の課題意識を基にした地域学校協働活動の企画・立案の一手法を体験しました。2種類のワークシートを用いて、個人の考えを書き出し、それを基にしたグループ協議を行いながら、具体的な活動の企画・立案を進めました。

最初に、これまでの研修で学んだことを復習し、何に配慮しながら地域学校協働活動を計画すべきかを振り返りました。そして、地域・学校・子どもを取り巻く多様な主体があり、それらが共通の目的・目標の下で「つながる」ことが重要であること、さらにこれらを「つなぐ」ために、日々の対話の積み重ねが必要であることをおさえました。

次に、「子どもたち」や「地域」の現状から浮かび上がる「課題」を書き出し、それに基づく「理想の姿」を考えました。そして、その姿に近づくために自分たちができること、実施できそうな地域学校協働活動を具体的に考えました。各受講者とも様々なアイデアを出しながら取り組んでいました。その様子からは、自分たちの地域をよりよくしたい、地域コーディネーターとしての役目をしっかり果たしたい、という受講者の熱い思いが伝わってきました。

後半は、前半の演習でそれぞれが考えた自分たちができる活動の一つを抽出し、実際に事業を計画するワークショップを行いました。事業を計画するポイントを示した9マスのワークシートを活用し、受講者ごとに事業立案を進めました。その後、グループ内で共有し、それぞれの計画についてアドバイスをし合い、情報交換するなどして、計画をブラッシュアップしていきました。受講者は、計画する際のポイントを理解するとともに、多様な人々との関わりながら企画・立案することで計画が充実していくと感じ取ったようでした。





研修の全日程が終了後、閉講式および修了証授与式を行いました。「学校を核とした地域づくり」を進めていくために必要不可欠なのが「地域学校協働活動推進員」です。「地域とともにある学校づくり」と一体的に推進し、受講者の皆様に活躍いただくことで、地域づくり、学校づくりが充実していきます。

受講者の皆様の益々の御活躍をお祈りしています！
全5回の研修、大変お疲れ様でした。

【受講者の感想から】

- 共通の目的・目標に向かい活動すると良い知恵が出てやる気に弾みがついた。共に活動する方々との良い関係づくりが大切だと感じた。
- 学校以外にも社協・民生委員・役所などと協力し、地域全体で学び合える活動を考えてみたくなった。
- 演習をとおしてグループの方の考えを知ることができて大変よかった。
- 具体的な活動を考える研修内容で、今後の活動の参考になることも多かった。
- 多様な主体とのよりよい関係性を創るために、役割を果たしていきたい。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp